



## せせらぎ義援金募金活動

冬の北風から春の南風に代わる頃、穏やかに晴れ渡った四月の日曜日。小関橋の袂にある管理棟を利用して、文化部の中谷倭文乃さん主催の青空はがき絵教室が開催され、同時に「東日本大震災」募金活動をネット役員により行いました。併せて被災者に届けようとする「千羽鶴」の折り紙も準備され、教室に集う子供たちや大人の方たちに、はがき絵に筆を添えた後、数多くの鶴を折って頂き募金活動共々、皆さんの心温まる気持ちに感謝。



これからも当面の間、毎月第一日曜日朝九時よりお昼ころまで募金活動をします。どうか協力の程、宜しくお願い致します。

写真・文  
田中達也

## 東日本大震災被災者に義援金のお願い

せせらぎネットワーク代表 平井資嘉寿

春まだ寒い三月十一日午後、日本列島を震撼させた「東日本大震災」は、震源地が陸地に近かった為、繰り返し返す余震で避難する暇もなく、超巨大津波が押し寄せ、尊い命と家まで破壊され流されてしまう大災害となりました。加えて東京電力福島原子力発電所の事故が発生してしまい、世界各国より「これ以上放射能が分散しない様」に叡智を結集して協力し、支援の手が物心両面で延べられたことは、とてもありがたいことです。



又、テレビ・新聞等の報道に依ると、死者行方不明者は二万五千人を超えるとのことで被災された大勢の皆様が、衷心よりお見舞い申し上げます。

私たちがせせらぎネットワークの仲間として、少しでもお役に立てばとの思いで義援金活動を始めました。この活動は今後も続けていく所存でございますので、皆様、暖かい支援の手を差し伸べてくださいますようお願いいたします。

くの人で賑わいますが、今年は、若者や子供達の活躍の場所を、分野を広げられないか、研究の年だと思えます。舞台参加者も来場者も共々祭りを楽しむ工夫もしたと思っています。

## せせらぎを舞台に今年も

事務局長 田辺 勝義

森とせせらぎネットワークの十二年度は、新しい幹事を加え、交代を計りながら、せせらぎ憲章」を目指し、せせらぎアンケート」に基づき、せせらぎのこれからを話し合う第三回「せせらぎシンポジウム」(六月十二日)を確実に行うこととす。清掃活動の計画も立ちましたので、町会の清掃活動に参加し、せせらぎを清く美しく保ち、人の輪も豊かにしたいものです。

八月は、第四回「灯籠流し」(八月十四日)です。この頃は、お盆の時期ですし、終戦記念日、広島、長崎の原爆慰霊の日も有ります。関東大震災の犠牲者に思いを致す日にも今年になります。地域の安全・地球の平和祈りを込めて「行います」。

十一月には第五回「森とせせらぎ祭り」(十一月六日)で盛り上がります。今年も高津区の橘公園です。毎年多



3月の清掃参加風景(下小田中5丁目町会)

## せせらぎネットワーク活動予定

- 五月一日(日) 九時～ はがき絵青空教室と募金活動 (管理棟前)
- 五月清掃活動 千年町会に参加予定
- 六月十二日(日) 十三時半～十六時 国際交流センター二階 江川せせらぎシンポジウム
- 八月十四日(日) せせらぎ灯籠流し
- 十一月六日(日) 森とせせらぎ祭り



## シリーズ「地産地消」 中原・高津の農家

今回の大震災で農業や漁業は大きな痛手を受けました。そこで農業を少しでも知り、折角近隣で取れたての野菜が手に入るのなら是非読者の方々に紹介して行こうというのがその趣旨です。

記念すべき第一回目はこの地で昔から農業を営んでおられる、鹿島康一さんの畑にお邪魔してお話を伺いました。

写真も枝豆の種を植えている風景です。天候にも拠りますが十日前後で発芽し、七月上旬には直販所で販売されるそうです。その他にもとうもろこしやトマト、ナス、きゅうりなどの夏野菜が並ぶでしょう。

冬野菜はキャベツ、ブロッコリー、カリフラワーだそうです。小松菜、ホウレン草は通年栽培しているとのこと。鹿島さんはとても気さくに話してくださいました。「一番のこだわりは？」の問いに、



種まきから約2週間後の枝豆



やはり肥料加減、つまりは土作りだ」と。また畑仕事は天候次第なので、休みの予定を立てづらいたも、日に焼けた笑顔で教えてくれました。

鹿島さんのグループは、南武線武蔵中原駅JA前でも、五月くらいから週に1、2度直販をしているそうです。

## 大震災復興の時期の高山祭

佐藤 克明

大震災復興のこの時期、各地は春祭です。かつて訪ねた福島県の三春町の神社の祭礼や五月の稚児行列はどうなるのか、いわき市各地区のさくら祭はなど気になるばかりです。鉄道は復旧していないし、やっと通じた電話で知ったのは、わたしが行く予定の文化施設の職員は、町のごみ処理の応援の日々で、本来の仕事どころではなく、祭も中止だと聞きまし

一方、東北から離れた和歌山県も大津波で、二万人が避難した町もありました。わたしがそこに打ち合わせで出かけた夜、宿のテレビは、岐阜県高山市も震災の影響で観光客が減ったと言っていました。

高山祭の二日前でした。

阪神淡路大震災のときに、観光客の激減が淡路の伝統人形芝居の最大の打撃だと知って、その回復に三年余り組んだわたしは、このニュースが気になって、和歌山県からの帰途、桜にはまだ早かった高山祭に行きました。

大出は例年の三割減」という声もあり、盛況とは程遠い感じでした。しかし、山車（だし）の上の数々のからくり人形は、高度な離れ業などを演じて観光客を引き付けていきます。日本のものづくりの職人技が生み出したこの魅力はけっして失われぬ。やがてまた観光客を取り戻すに違いない、と改めて思いました。



高山・端午の節句

取れたて野菜は味もそうだけれど「風味」が違う」と鹿島さん。記者もこれからは風味を意識して野菜を食べてみようと思いました。

値段も安いので、みなさんも近くを通りかかったら是非購入してみたいかがでしょうか。美味しい調理の仕方を聞いてみるのも有りです。

直販所：中原区下小田中6-25-27  
記者：広報本間



下小田中小学校裏斜め向かいの直販所

## 連載

### 詩吟―続― 稲本吼信 (こしん)

ネットニュース企画担当者からは、詩吟についてその意味と解説を書いて欲しいとのご要望でしたが、前述の様に漢詩と詩吟とは切っても切れない深い関わりが有り、最低限知っておいて頂かなければ、漢詩は勿論、詩吟等を解説しても何も理解しては頂けないものと考え、少し長く成りましたが、前段に述べさせて頂く事としました。

さて、表題が「詩吟」と言うことになっていきますので、この後、詩吟についてもう少し詳しく、と言うかシツコクご案内させて頂くことと致します。

我が流派にはこんな「小唄」があります。

高音落しに憧れて  
門を叩いた吼山流  
やがて三月になるけれど  
いろはいろはのむずかしさ

「いろは」とは、事の始めを意味しています。何かを始めるには、そのための案内書を読んだり、取扱書を読んだり、入門書を読んだりして、始める為の準備をしなければなりません。言わば準備体操の様なものですが、運動をする前に是を省いてしまうと、思わぬ怪我をしてしまいかねません。

今時はやらない事ですが、日本古来の伝統技や「道」と付く伝統芸術には殆ど基本が有、是をマスターして、初めて練習らしい練習に入る事が出来るのです。何とも面倒な事ですが、避けて通れない関門なのです。

## 関係団体イベント紹介

- ひとみ座乙女文楽若手公演  
五月八日（母）開演十一時・十五時の二回・料金二〇〇円・今回の公演は録音でなく、本物の唄や三味線も見所です。  
太夫（語り）竹本越孝  
三味線・鶴澤寛也
- 井田山健康の森を育てる会  
五月八日（母）九時〜  
フリーマーケット・花苗植え付け  
五月十四日（土）九時〜  
せせらぎウォーキング
- ひとみ座寄席の会  
五月二十八日（土）十五時・二十時の二回・前売り一般一七〇円・当日二〇〇円・小中高生五〇円

## 編集後記

これまで折鶴にご協力してくださったレストウイラ元住吉のご高齢者、下小田中笑話会の皆さん、若竹幼稚園の児童たち、はがき絵青空教室に参加してくださった方々に御礼申し上げます。大変有難うございました。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

